

登録コード	HM107200	開講年度	2026			
授業題目	臨床薬理学特論				担当教員	木村 航 他
英文授業名	Clinical Pharmacology				副担当	内藤 隆文・富田 拓郎・平井 啓太
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【研究科共通_2024年度以前加付対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力				本特論を通して、専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力を習得する。	
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				本特論を通して、医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力を習得する。	
(2)詳細 /Detailed information	薬理学は、大きく 薬力学、薬物動態学、薬物治療学、毒性学に分類される。薬力学は薬が生体に対する作用を、薬物動態学とは生体が薬に対する作用を取り扱い、医学科の講義で詳述されている。一方、薬物治療学とは、病気の予防または治療のための薬物の使用法を述べるものであり、その中に含まれる臨床薬理学は、ヒトの病気に対する薬物使用法に特化したものである。したがって、本講義は臨床医学の講義と重複する点が多いが、特に薬力学、薬物動態学を基本とした薬物療法学を論じ、生体からの情報収集能力、生体機能の分析能力の向上を図る。					
(3)授業の概要 /Overview of course	薬物の臨床応用の背景にある科学的理論への理解を促すため、臨床薬理学総論として、一般薬理学、薬物有害反応、中毒・過剰投与・解毒、薬物乱用などを論じた後、循環器疾患、腫瘍、感染症、免疫疾患の臨床薬理学の各論を論じる。					
(4)授業計画 /Course plan	第 1回：一般薬理学（担当：木村） 第 2回：医薬品の発見と開発（担当：富田） 第 3回：薬物有害反応（担当：内藤、平井） 第 4回：中毒・過剰投与・解毒薬（担当：内藤、平井） 第 5回：薬物乱用（担当：木村） 第 6回：不整脈の治療（担当：木村） 第 7回：心不全の治療（担当：木村） 第 8回：高血圧症の治療（担当：富田） 第 9回：虚血性心疾患の治療（担当：木村） 第10回：脂質異常症の治療（担当：富田） 第11回：がん化学療法（ 1 ）（担当：内藤、平井） 第12回：がん化学療法（ 2 ）（担当：木村） 第13回：免疫抑制療法（担当：木村） 第14回：抗菌化学療法（ 1 ）（担当：内藤、平井） 第15回：抗菌化学療法（ 2 ）（担当：富田）					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	○成績評価の方法 最終回終了後、各自専門領域の治療薬を作用機序別に分類し、10,000字以内で、その作用機序、臨床適用、副作用、中毒、禁忌、薬物代謝について論述するレポートを課す。 ○成績評価の基準 成績評価では、記載された基礎知識の正確さを50点満点で、臨床現場で遭遇しがちな病態による薬の作用・副作用の変化（例えば、血清K ⁺ 濃度の変化が薬の作用・副作用に与える効果、薬物代謝酵素を介した薬と薬の相互作用など）に対する応用的理解の深さを50点満点で採点し、合計90点以上を秀、89 - 80点を優、79 - 70点を良、69 - 60点を可とする。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	テキスト Goodman & Gilman's THE PHARMACOLOGICAL BASIS OF THERPEUTICS 13TH EDITION L. Brunton, R. Hilal-Dandan, & B.N. Knollmann Ed. McGraw-Hill Education, New York					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	講義中の随時の質問を歓迎します。またオフィスアワーは特に設定しないので、あらかじめメールでアポイントメントを取って、質問しに来てください。 担当教員メールアドレス：watarukimura@shinshu-u.ac.jp 担当教員（内藤）メールアドレス：naitou@shinshu-u.ac.jp					
(8)授業の形式 /Course format	パワーポイントを用いた講義形式ですが、ハンドアウトを用意します。					